行方地域の未来を支える新規農業後継者クラブの育成

鹿行農林事務所行方地域農業改良普及センター

行方普及センターでは、農業学園等を通じて、管内の若く経験年数の浅い農業担い手の育成を行っています。また、将来の地域を担う経営者としての資質向上を図るため、新規農業後継者クラブの設立を推進したところ、若手レンコン生産者による「なめがたLR（ロータスルーツ）育成会」が結成されました。クラブ設立により、地域や各自の課題解決に向け、産地間ネットワークづくりや省力・低コスト技術の検討に取り組んでいます。

地域動向に応じた農業学園の開催

近年、管内においてレンコンの新規就農者が増加していることから、若手レンコン生産者を対象とした農業学園を開催しています。普及センターでは、受講者が将来の経営ビジョンを具体化するために、「行方レンコン講座」を編成し、先進的な生産者の経営方針や販路開拓の方法等を学べる研修開催や生産者同士の情報交換･仲間づくりを支援しました（写真１）。

写真１　先進生産者農場における事例研修会

新規農業後継者クラブの設立

農業学園を受講し、意気投合した若手レンコン生産者13名によって、令和３年３月に行方地域農業後継者クラブ「なめがたLR育成会」が設立されました（**写真２**）。

クラブ員は、活動を通して栽培技術向上を目指しながら、海外マーケットも視野に入れた経営展開、農業経営の発展等を目標に掲げ、活動を展開しています。

写真２　「なめがたLR育成会」設立総会

環境にやさしい栽培技術の実証

「なめがたLR育成会」結成１年目の活動テーマは、レンコンの施肥管理としました。クラブ員圃場で施肥削減技術の試験圃を設置し、環境への負荷軽減とコスト削減を目的とした実証を行っています（**写真３**）。普及センターでは、クラブ員が、自らの課題解決に向け計画的に活動し、資質向上につなげられるよう支援を行っています。

写真３　実証試験圃場での施肥管理作業